

いのち消さない「SDGs」から いのち輝く「Sustainable Shared Values」へ

CODE OF **Liberty** and **Freedom of Choice**

CODE OF **Health** and **Well-being**

CODE OF **Peace, Safety** and **Human Security**

CODE OF **Working, Trust** and **Economic systems**

CODE OF **Food, Water** and **Sanitation**

CODE OF **Infrastructure, Energy** and **Environment**

CODE OF **Learning** and **Education**

CODE OF **Equality, Neutrality** and **Fairness**

CODE OF **Partnerships, Community** and **Society**

Society5.0とは

社会、経済、文化、技術を、
多様な価値から再構成する

文明の転換点
第三のルネッサンス

経済合理性、Well-beingだけでなく、
Better Co-Beingを目指す時代

■ インパクト投資とは ESGの一種、社会課題への効果測定

環境や社会、企業統治に配慮する「ESG投資」の一種。社会課題の解決に貢献する投資先を選ぶだけでなく、投資の実行前や後にその企業が社会にもたらす効果の測定もする。投資活動が社会に与える実際の影響度（インパクト）を重視するためこう呼ばれる。

例えば遠隔地に医薬品をドローンで配送したり、農村部で太陽光発電をしたりする企業に投資した場合は、医療環境や社会インフラの改善などを測定する。注目が集まることで社会解決に取り組む企業に資金が集まり、企業の収益力が高まって投資がさらに集まるといった循環が生まれつつある。グローバル・インパクト投資ネットワーク（GIIN）によると、世界のインパクト投資市場は2019年末に前年比で4割増え7000億ドル（約75兆円）を超えた。

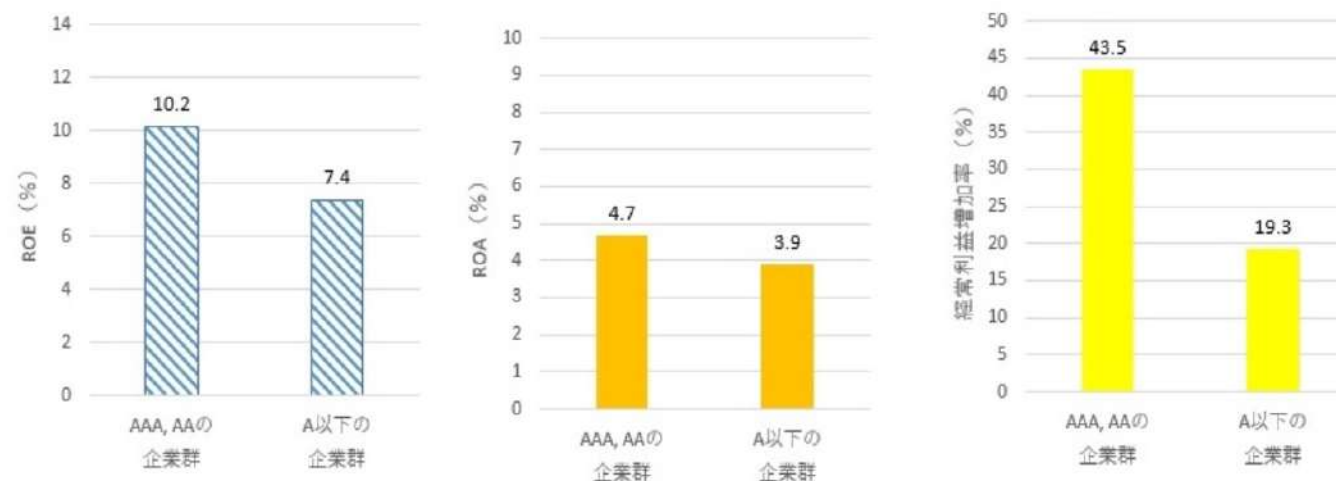


2020年7月14日 日本経済新聞電子版 <https://r.nikkei.com/article/DGXXZO61474670U0A710C2EA2000?s=1>

■財務パフォーマンスとの関係分析

「環境配慮評価融資/私募債」および「ESG/SDGs評価融資/私募債」では、環境やESG側面の取り組みの評価結果に応じて、日本総合研究所が「AAA」「AA」「A」「B」「C」「D」「E」の7段階で格付を付与している。そこで、評価型資金調達の格付結果で高格付（「AAA」および「AA」）の企業群とそれ以外（「A」以下の企業群）でROE等の財務指標の平均値を比較し、ESG評価の格付が高い企業群は、格付が低い企業群と比べて財務パフォーマンスが良いといった関係性が見られるかどうかを分析した。財務指標として、ROE、ROA、経常利益増加率を調べたところ、「AAA」および「AA」の企業群の平均値は、「A」以下の企業群の平均値をいずれも上回るという関係が確認された。特に、経常利益増加率については、高スコア企業群は平均以下の企業群と比べて2倍以上高いという結果が得られた。

図8 環境・ESG評価の格付と財務パフォーマンス (N=143)



いのちを響き合わせて創る、多様な社会 その世界を共に体験する中で、一人ひとりが輝く

PROJECT

データ×多様な価値

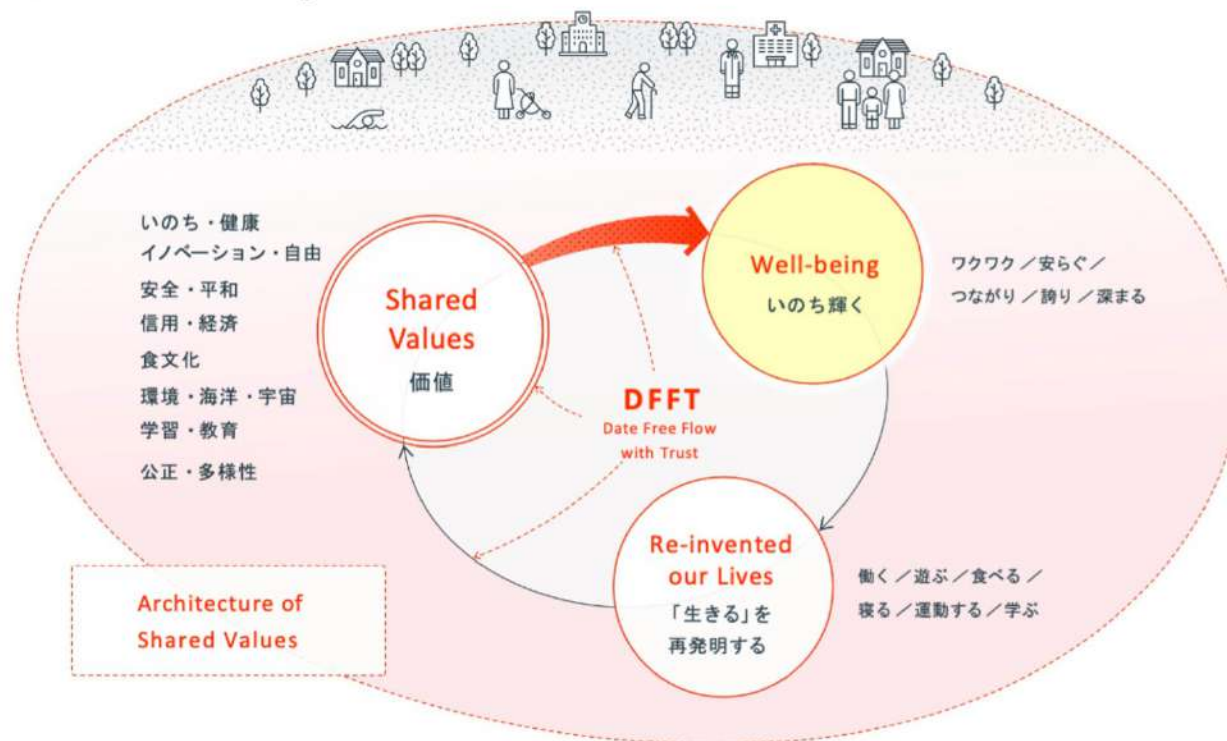
Shared Values



いのち輝く

Well-being

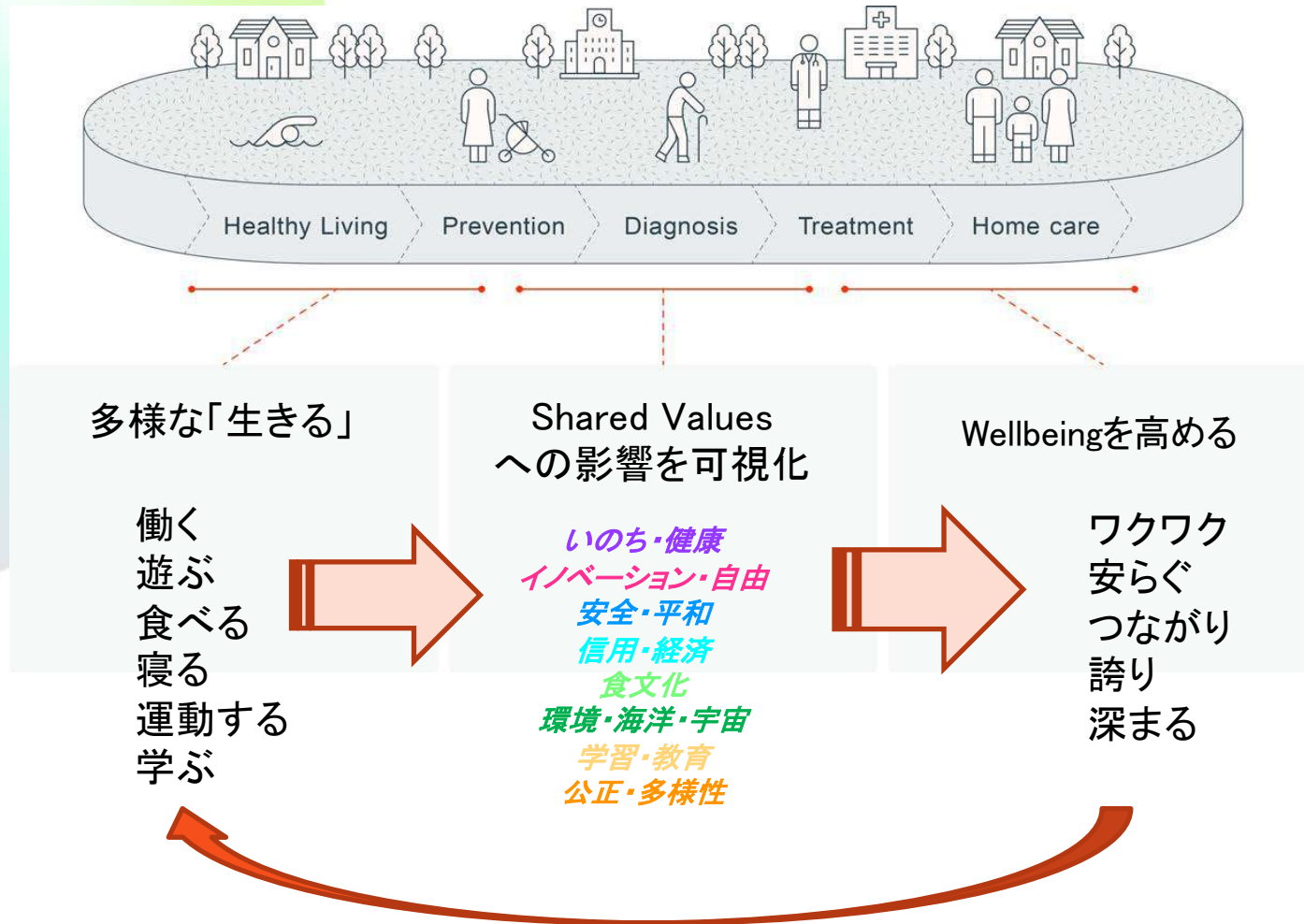
EXPO 2025



The Greatest Happiness of The Greatest Number から

The Greatest Happiness with Diversity and Inclusion へ

社会が人々を歯車として駆動するのではなく、
一人ひとりの生きるが響き合いながらともに社会を作る



データを活用して、人々が社会（産業・行政）との接点をデザインする

human Co-beingの時代に社会が担うこと うめきた2期との連携

